

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

1月理事会

平成31年、年が明けて最初の理事会は、1月10日（木）役員13名の参加者を得て、天龍本館（川崎区）にて開催された。

菅原会長による議事進行のもと、①次年度会長人事、②次年度事業方針、③総会、④2・3月定例会について議論がなされた。次年度は、新しい元号初年度であり、川異研もこれまでの活動を発展させ、さらに会員に喜ばれる会を目指す。新年を祝うとともに今後の川異研にそれぞれ思いを新たにしたい。



次年度計画を熱心に考える

2月定例会

2月14日（木）当所にて2月定例会を開催した。会員10名、オブザーバー2名の参加者を得た。今回は、（公財）川崎市産業振興財団 産業支援部より、新産業振興課 塩川克久課長、中小企業サポートセンター 村田英嗣課長補佐を講師に迎え、「補助金について」及び「事業承継について」講演頂いた。塩川

講師からは補助金について、村田講師からは事業承継について説明頂いた。同財団の事業説明の後、補助金の説明では、製造業対象と全業種対象の補助金について、実際どのようなものがあるのか検索画面を見ながら説明頂いた。塩川講師は新事業創出支援に携わり、各企業を訪問し、ニーズに応じて支援策を紹介されている。まずは連絡をと同財団の活用を促した。事業承継の説明では、川崎信用金庫、川崎市、同財団、当所で構成される KAWASAKI 事業承継市場の取り組みを中心に詳しく説明頂いた。具体的な後継者がいないと、なかなか進められないと考えられがちだが、後継者を決めていない経営者を対象に、バトタッチのイロハを伝える講習会も紹介され、後継者探しの前に事業の磨き上げから始めるなど、担当者ならではの考えも述べられた。会員は熱心に耳を傾けた。

その後、場所を変えて懇親会を行った。講師にも参加頂き、より深い交流ができた。



聴講する会員

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191